

1 岩見沢西高校の3年間 ～ 進路実現への具体的イメージ ～

集団が個を伸ばす！

互いに切磋琢磨しあえる集団
互いを尊重しあえる集団
何事にも向上心を持って取り組める集団
規律をしっかりと守る集団
部活動・学校行事に全力で取り組む集団

「心の成長」が土台！

何事も実践しようとする
素直な心

自己と周囲を大切にする
謙虚な心

規則正しい生活習慣

自由な時間をコントロールする力

目標を達成しようとする
貪欲な心

進路学習のビジョン 教科学習活動のビジョン

3年間のビジョンを描く

職業研究により職業観を広げ、自己の可能性を探る
学部・学科について知り、文理選択について考える
学習状況、進路に関わる三者懇談の実施

2 年次文理選択の検討

進路希望による2年次選択科目検討

2 年次文理選択の決定

2年次以降の進路学習の見通しを持つ

第一志望の決定に向けて具体的検討

入試システムの理解、入試科目の具体的把握
興味関心に応じた、大学・学部・学科の具体的検討

「第一志望届」考察開始

各校オープンキャンパスへの参加
大学・看護学校校内ガイダンス
入試科目研究により、3年次選択科目検討
第一志望に関わる三者懇談の実施
校長等による面接の実施(第一志望宣言)
※「第一志望」とは卒業時における最高最大の
具体的自己目標のことです。

第一志望決定集会(受験生になる)

共通テストにトライアル(1年後を見定める)
3年次生の入試を間近で実感(入試システムの確認)

志望校の入試科目、内容の研究

受験校、受験計画等に関する三者懇談を適宜実施

受験併願校の検討

受験日程の調整・確認

高校の学習スタイルへ意識改革

予習→授業→復習の黄金サイクルの理解と実践
国語・数学・英語を中心とした学習方法の理解と実践
標準家庭学習時間＝平日120分・休日240分

黄金サイクルと学習方法の定着

前期の検証による苦手科目の克服

長期休業中の自律的な学習実践

時間管理と自己管理の具体的実践
2年次0学期スタート(1年次の基礎固め)

学習の量と質の向上

「強い意志」による効果的な学習実践

自ら取り組む学習スタイルへの転換

長期休業中の自律的な学習実践(達成感がカギ)

自律的な学習スタイルの実践

第一志望を見据えた具体的学習実践
3年次0学期スタート
1・2年次の基礎力を徹底させることが受験勉強

入試に必要な基礎力を養成

基礎事項の徹底反復・確認・錬成
模擬試験の効果的活用
部活動引退後の切り替え・休日の学習活動

入試に必要な実践力を養成

入試過去問題への具体的取り組み
基礎事項の徹底反復・確認・錬成

大学入学共通テスト(試験後、国公立大学出願校検討と最終決定)

私立大学入学試験

国公立大学2次試験(前期・中期・後期日程)

定期 考査		全国 模試	
	1年 4月		第1ステージ前期 (高校入門期) 西高スタイルへ転換
	1年 5月		
前期 中間	1年 6月		第1ステージ前期 (入門基礎力育成期)
	1年 7月	☆	学習方法と 学習習慣の確立
	1年 8月		
前期 期末	1年 9月		
	1年10月		第1ステージ後期 (基礎力育成期)
	1年11月	☆	学習方法と 学習習慣の定着
後期 中間	1年12月		
	1年 1月	☆	
後期 期末	1年 2月		
	1年 3月		
	2年 4月		第2ステージ前期 (実力伸長期)
	2年 5月		学習の量と質の向上
前期 中間	2年 6月		
	2年 7月	☆ 志望校判定	
	2年 8月		
前期 期末	2年 9月		第2ステージ後期 (実力伸長期)
	2年10月		具体的目標を見据えた 学習への転換
	2年11月	☆	
後期 中間	2年12月		
	2年 1月	☆	
後期 期末	2年 2月	☆	
	2年 3月		
	3年 4月		第3ステージ前期 (進路達成期) ～入試基礎力養成期～
	3年 5月	☆	自律的な学習の確立
前期 中間	3年 6月	☆	
	3年 7月	☆	
	3年 8月	☆	
前期 期末	3年 9月	☆	第3ステージ後期 (進路達成期) ～入試実践力養成期～
	3年10月	☆	入試本番を見据えた実践力の完成
	3年11月	☆	
後期 中間	3年12月	☆	
	3年 1月	☆	
	3年 2月		
	3年 3月		

※定期考査・全国模試の実施月は年度により多少変動します

岩見沢西高校の3年間

～進路シラバス（1年次）～

「私は今の時期になるまで沢山のことを後回しにしました。今、後悔しかありません。どうにかして時間を戻したいです。勉強しても分からないところや、みんなが普通に理解できる所も私はできません。もっと、1・2年の時にやっておけばと思います。」
「1・2年生でしっかりやっていた人は受験のスタートダッシュが他の人より早く、余裕を持ってできます。最後の2、3ヶ月で焦るか焦らないかはこの差だと私は思います。」
3年生受験直前アンケートより

意欲の源は目標を持つこと！
自分を動かす大きな原動力になるのは目標です。絶対に譲れない目標を持つことで日々の過ごし方は必ず変わります。「将来の自分」と真剣に向き合い、目標を達成するために何が必要かをとことん考えましよう。かけがえのない自分の人生を切り拓くために。

学習方法と学習習慣の確立が学力を伸ばす！
スタートが肝心です。高校での学力を確実につけるためには学習方法と予習・授業・復習（黄金サイクル）の確立が不可欠です。頭の良し悪しではありません。目的を理解し、習慣化させることで学力は着実に伸びます。やれば必ずできるのです。

進路学習	教科学習
◇進路考察の基礎ガイダンス ◇高校生活の意義と目標について考える ◇自己の進路観の現状を正確に把握する ◇3年間の進路学習の見通しを持つ ◇自己の適性を知る(探究1ー1)	◇学習に対する意識の転換を図る ◇国語、数学、英語を中心に学習方法の定着を図る ◇提出物、課題の徹底 ◇ 目標家庭学習時間平日120分、休日240分 ◇前期中間考査に向けて家庭学習時間平日240分
◇社会が必要とする資質・能力を考える(探究1ー2) ◇自己の興味、関心、将来就きたい職業を考える ◇目指す生き方をふまえて、学問を研究する	◇不得意科目の把握と克服に向けての計画 ◇7月模試の徹底分析と対策 ◇学習方法の検証と見直し ◇夏季休業の学習計画と実践
◇ 9月中旬：学びと仕事体験学習 ◇ 9月下旬：大学と職業を考える講話① ◇7月模試の結果を分析し学習姿勢の見直しを図る ◇前期の進路学習を振り返る	◇基礎基本事項の徹底理解を図る ◇夏までの学習内容の復習と定着を図る ◇不得意科目の把握と克服を図る ◇前期期末考査に向けて家庭学習時間平日240分
◇ 10月下旬：大学と職業を考える講話② ◇自己の適性と進路目標を踏まえ、文理選択をする ◇自己の進路観を確立する ◇学問・上級学校について調べる(探究1ー3)	◇学習の本格化に適切に対応する ◇授業を中心とした家庭学習ができているか確認する ◇家庭学習時間が1日120分以上確保できているか確認 ◇後期中間考査に向けて家庭学習時間240分 ◇11月模試の徹底分析と対策
◇ 文系理系選択の決定をする ◇進路分野別学習を通して進路観を深める ◇共通テストとその後の出願手続きについて知る ◇共通テスト試験問題にチャレンジする	◇冬季休業の学習計画と実践 ◇冬までの学習内容の復習と定着を図る ◇校外模試の徹底分析と対策
◇大学入試への意識を高める ◇1年間の進路学習のまとめをする ◇2年次以降の進路学習の見通しを立てる	◇後期期末考査に向けて家庭学習時間240分 ◇1年間の学習内容を振り返り自己評価する ◇自己の学習到達度を踏まえ、2年次以降の学習計画の見直しを図る ◇自己の学習法の確立を目指す

☆**学習の量と質の向上を図る（2年前期）**

◇1年間の学習の習慣化から引き続き基礎力の定着を目指す

◇将来を見据えた大学・学部・学科や職業の研究を深化させ、自分にとって最高・最大の目標を絞る

☆**自ら考える学習スタイルへの転換を図る（2年後期）**

◇第一志望を決定し、自律的な学習の確立をめざす

◇到達目標と現時点での学力のギャップを把握、今後の課題を把握した上で実行に移す

☆**自律的な学習の確立（3年前期）**

◇進路希望実現に必要な基礎力を身に付ける

◇志望校・志望職種の研究

☆**試験本番を見据えた実践力の養成（3年後期）**

**専門学校出願開始
公務員・民間企業採用試験**

**大学入学共通テスト
私立大学入学試験
国公立大学2次試験**

定期考査		模試	
	1年 4月		第1ステージ前期 (高校入門期)
	1年 5月		
前期中間	1年 6月		
	1年 7月	☆	第1ステージ前期 (入門基礎力育成期)
	1年 8月		
前期期末	1年 9月		
	1年10月		第1ステージ後期 (基礎力育成期)
	1年11月	☆	
後期中間	1年12月		
	1年 1月	☆	
後期期末	1年 2月		
	1年 3月		
	2年 4月		第2ステージ前期 (実力伸長期)
	2年 5月		
前期中間	2年 6月		
	2年 7月	☆	第2ステージ後期 (実力伸長期)
	2年 8月		
前期期末	2年 9月		
	2年10月		
	2年11月	☆	
後期中間	2年12月		
	2年 1月	☆	第3ステージ前期 (進路達成期) ～入試基礎力養成期～
後期期末	2年 2月	☆	
	2年 3月		
	3年 4月		
	3年 5月	☆	
前期中間	3年 6月	☆	
	3年 7月	☆	第3ステージ後期 (進路達成期) ～入試実践力養成期～
	3年 8月	☆	
前期期末	3年 9月	☆	
	3年10月	☆	
後期中間	3年12月	☆	
	3年 1月	☆	
	3年 2月		
	3年 3月		

※定期考査・模試の実施月は年度により多少変動します

岩見沢西高校の3年間 ～進路シラバス（2年次）～

定期考査		模試
	1年 4月	
	1年 5月	
前期中間	1年 6月	
	1年 7月	☆
	1年 8月	
前期期末	1年 9月	
	1年10月	
	1年11月	☆
後期中間	1年12月	
	1年 1月	☆
後期期末	1年 2月	
	1年 3月	

進路学習	教科学習
絶対に譲れない明確な目標が強い意志を生む！ 12月の第一志望決定集会に向けて第一志望を決定する。 目標を明確にするために進路学習を深化させる。 具体的な入試形態を知り、受験生としての見通しを持つ。	見通しを立て、学習方法と学習習慣の更なる進化を遂げる！ 1年次の反省を活かし、学習に対する今後の見通しを明確にする。 目標達成のための学習習慣(黄金サイクル)の確立、学習方法の確立をする。 2年次までの学習姿勢、学力が進路を大きく左右することを自覚し、時間を有効活用する。

	2年 4月	
	2年 5月	
前期中間	2年 6月	
	2年 7月	☆ 志望校判定
	2年 8月	
前期期末	2年 9月	
	2年 10月	
	2年 11月	☆ 5教科
後期中間	2年 12月	
	2年 1月	☆ 5教科
後期期末	2年 2月	☆ 共通テスト模試
	2年 3月	

志望校を記入する最初の模試です。記入する大学、学部、学科を予め調べて準備

◇職業・業種を調べる(探究2-1) ◇1年間の達成目標と予定を立て、進路実現に見通しを持つ ◇志望校の情報を様々なメディアを利用して集め、具体的な検討をする	◇第一志望校を見据えた1年後の目標値を設定し、各科目毎に基礎基本を徹底して習得できるように学習計画を立てる(スタディーサポートの活用) ◇1年次の学習習慣、学習法を振り返り、反省点は確実に生かす(仕切直しをして再スタートをきる) ◇2年次目標家庭学習時間は平日180分、休日240分(学習量と学習の質のバランスを保つ)
◇自己の適性をよく理解し、進路実現のための過程を明らかにする ◇大学入試システムの学習、本年度の大学入試科目調べをする(入試科目の変更点は特に注意) ◇6月下旬：分野別ガイダンス	◇前期中間考査に向けて家庭学習時間240分 ◇不得意科目の補強 ◇進研模試の徹底分析と対策を通じて重要事項の整理定着を図る ◇夏季休業期間の学習計画を具体的に立てる
◇8月下旬：大学・短大校内ガイダンス ◇7月模試の結果を通じて、第一志望校との差がどれだけあるかを把握する ◇各大学オープンキャンパスへの積極的参加 ◇5教科7科目入試、共通テストの重要性などをより具体的に知り、学習時間の適切なバランスをとる	◇夏季休業期間を利用し、学習内容を整理補強する ◇7月模試の結果を分析し、学習姿勢の見直しと弱点分野の把握をする ◇各科目の適切な学習時間を見直し、今後の学習計画を調整する ◇前期期末考査に向けて家庭学習時間240分
◇より具体的な進路先(大学・学部・学科)を検討 ◇第一志望校を具体的に目指す決意を固める ◇10月下旬：第一志望届集会	◇具体的な志望校を見据えた学習方法、学習内容を取り入れる ◇後期中間考査に向けて家庭学習時間240分
◇志望先の募集要項を収集し、入試システム、入試科目をより具体的に把握する ◇進路先に応じた、3年次の科目選択を検討する	
◇11月模試の結果を通じて、第一志望校との差を把握 ◇12月中旬：第一志望決定集会を通して具体的な学習計画に基づいた決意を固める(探究2-3)(受験に向けた本格的スタート) ◇第一志望に関わる三者懇談の実施、校長等による面接の実施(第一志望宣言) ◇3年次の科目選択決定 ◇共通テスト問題チャレンジ → 現時点実力把握 ◇共通テスト後の出願方法について知る	◇11月模試の結果を分析し、学習姿勢の見直しと弱点分野の把握をする ◇第一志望校を見据えた入試問題研究をする
	◇後期期末考査に向けて家庭学習時間240分 ◇受験科目を見据えた適切な学習計画と学習バランスを設定する ◇3年0学期という意識の下、受験を意識した適切な家庭学習の実践をする

	3年 4月	
	3年 5月	☆
前期中間	3年 6月	☆
	3年 7月	☆
	3年 8月	☆
前期期末	3年 9月	☆
	3年10月	☆
	3年11月	☆
後期中間	3年12月	☆
	3年 1月	☆
	3年 2月	
	3年 3月	

第3ステージ前期(進路達成期)～入試基礎力養成期～

第3ステージ後期(進路達成期)～入試実践力養成期～

☆自律的な学習の確立（3年前期） ◇入試に必要な基礎力を錬成する ◇志望校の研究
--

☆入試本番を見据えた実践力の養成（3年後期） ◇入試問題演習への具体的な取り組み ◇受験校の最終決定(国公立大学は共通テスト後)
--

大学入学共通テスト本番 私立大学入学試験本番 国公立大学2次試験本番
--

※定期考査・模試の実施月は年度により多少変動します

岩見沢西高校の3年間 ～進路シラバス（3年次）～

定期考査				全国模試	看護模試	公務員模試					精神力	実践力								
	1年 4月						第1ステージ前期 (高校入門期)	○ 出願手続きは原則個人で行う ○ 大学入学共通テストの出願手続きは学校一括で行う				第1 志望の決定。それに対する決意。自分で定めた目標は達成するために立てたもの。ここから先はしっかりと自己と向き合い、「逃げない」「諦めない」姿勢を保ちましょう。受験への道のりは平坦ではありません。だからこそ、それを乗り越えるところに人としての大きな成長をもたらすのです。	学習習慣の確立、各教科学習方法の確立という大目標はこの2年間で達成されていますか。今一度、家庭学習の在り方を検証し、どのように授業を活用していくべきか(予習→授業→復習)を再確認しましょう。受験勉強とは特別なものではありません。応用力・実践力は基礎力がなければ発揮されることはないのです。							
	1年 5月																			
前期中間	1年 6月																			
	1年 7月	☆										第1ステージ前期 (入門基礎力育成期)				成功への秘訣	●時間の貴重さを実感して臨む ●謙虚で素直な姿勢が人を伸ばす ●「ねばる」姿勢が結果を出す ●志望校判定に一喜一憂しない ●仲間を大切に ●「なぜ」「どうして」を大切にする ●弱点分野を常に把握する	●家庭学習の目安は240分(平日) ●部活引退後は300分 ●基礎力を丁寧に磨く ●入試実践力は基礎力次第 ●模試は入試本番と思って臨む ●自習室の有効活用		
	1年 8月																			
前期期末	1年 9月																			
	1年 10月						第1ステージ後期 (基礎力育成期)													
後期中間	1年 11月	☆																		
	1年 12月																			
	1年 1月	☆																		
後期期末	1年 2月						第2ステージ前期 (実力伸長期)													
	1年 3月																			
	2年 4月																			
前期中間	2年 5月																			
	2年 6月	☆					第2ステージ後期 (実力伸長期)													
	2年 7月																			
前期期末	2年 8月																			
	2年 9月																			
後期中間	2年 10月						第3ステージ前期 (進路達成期) ～入試基礎力養成期～ ☆自律的な学習の確立													
	2年 11月	☆																		
	2年 12月					☆														
後期期末	2年 1月	☆				☆														
	2年 2月	☆				☆	第3ステージ後期 (進路達成期) ～入試実践力養成期～ ☆入試本番を見据えた実践力養成													
	2年 3月					☆														
	3年 4月		☆		☆															
前期中間	3年 5月	☆	☆	☆	☆															
	3年 6月	☆		☆	☆		3年生受験直前アンケートより				4月	大学入試概要発表 専門学校 募集要項配布開始 進路希望調査	◇進路実現に向けた見通し(計画)を持つ ◇志望校入試科目の確認(前期・中期・後期・併願校)	◇学習計画を立てる(年間・学期・月間・週間・日間) ◆弱点科目・分野の把握と克服計画						
	3年 7月				☆						5月	進路希望調査	◇部活動と受験勉強との両立(モチベーションの持続) ◇担任との日常的な懇談	◇3年生として部活に全力投球しつつも家庭学習・授業を疎かにしない(意志の強さが差をつける時期)						
前期期末	3年 8月	☆	☆	☆							6月	専門学校AO入試エントリー開始 赤本販売開始 公務員試験出願開始 進路希望調査	◇部活動引退後の切り替え ◇志望校により早めの対策が必要な場合は相談をする	◇模試の結果分析をする ◇学習計画・学習方法・学習量の点検をする						
	3年 9月	☆									7月	求人票公開 私大・短大 募集要項配布開始 進路希望調査 大学入学共通テスト受験調査 私大・短大 総合型選抜エントリー開始	◇推薦等出願ガイダンス ◇学校祭準備との両立 ◇志望校との距離感を確認する ◇夏期休業の必勝計画を立てる	◇学校祭に力を注ぎつつ、学習ペースは崩さない(けじめをつけることが成功の秘訣) ◇入試に必要な基礎力の充実						
後期中間	3年 10月	☆	☆	☆	☆		第3ステージ後期 (進路達成期) ～入試実践力養成期～ ☆入試本番を見据えた実践力養成	8月	各大学オープンキャンパス	◇夏期休業の有効活用	◇入試に必要な基礎力の完成									
	3年 11月	☆						9月	国公立大 総合型選抜出願開始 大学入学共通テスト受験案内配布 公務員試験1次(筆記) 民間就職試験開始 推薦願提出 大学入学共通テスト出願	◇大学入学共通テスト出願ガイダンス ◇共通テストをはじめとする入試概要を確認する ◇共通テストの出願手続きを遺漏なく行う(現役生は高校を通じて行う)	◇共通テスト・私大短大入試など具体的に入試問題を見据えた学習への転換をしていく									
後期期末	3年 12月							10月	専門学校 出願開始 公務員試験2次(面接) 国公立大 募集要項発表	◇併願・パターンの具体的検討	◇伸び悩む科目があっても諦めずに取り組む(受験科目を絞って結果を出す例はほとんどない)									
	3年 1月	☆						11月	国公立大 学校推薦型選拔出願	◇現時点での模試結果を参考に出席予定校を絞り込む	◇生活習慣の見直しをする(夜型から朝型へ) ◇弱点科目を意識し、バランスの取れた学習を心がける									
	3年 2月						大学入学共通テスト本番 1月中旬の土曜・日曜 私立大学入試本番 国公立大学二次試験本番 ☆共通テストから 国公立後期試験まで約2ヶ月間の長期戦 ☆「最後まで諦めない」精神力が実力を伸ばし、人としての大きな成長をもたらす	12月	高看出願	◇出願校を決定する(国公立大学の出願は共通テストの結果を精査してから) ◇大学入学共通テスト受験ガイダンス	◇時間を計測しながら、多くの過去問を解く ◇今までやってきたことの反復確認を確実に!!									
	3年 3月							1月	私大・短大 一般選拔出願 大学入学共通テスト 共通テスト自己採点 国公立大 出願(前期・中期・後期) 高看出学試験	◇全力で受験 ◇出願手続きを自分で適切に行う ◇共通テストの正確な自己採点 ◇受験行動表の作成(入試～手続きまで)	入試に必要な実践力を養成									
	3年 4月							2月	私大・短大 一般選抜試験 国公立大 前期日程試験	◇入試実践力は試験が始まる直前まで伸び続けることを忘れない ◇担任への受験結果報告は正確・迅速に!!	◇赤本等の過去問を利用した私大・短大・国公立前期対策 ◇家庭学習期間であるが、学校の学習環境を最大限に活用する									
	3年 5月							3月	公立大 中期日程試験 国公立大 後期日程試験 私大 3月入試	自分一人の力だけで合格できたのではないはず。進路決定後は感謝の気持ちを忘れず、新しい生活の準備に入る。	◇国公立大中期・後期対策 ◇卒業式後の集中心力持続									

※定期考査・模試の実施月は年度により多少変動します

岩見沢西高校の3年間 ～ 看護系進学希望者 ～

岩見沢西高には、毎年のように看護職への希望者が非常に多く集まります。過去の先輩方は、岩西で基礎基本の学力を身に付けるだけでなく、看護学校や看護学科のある大学への進学を目指し、平日頃から意識を高め、積極的に情報収集してきました。皆さんが先輩方に続くためにも、このシラバスを確認し長期的な展望を持って学校生活を送りましょう。

定期 考査		道看 模試		心構え	日常生活
	1年 4月		第1ステージ前期 (高校入門期) 西高スタイルへ転換	看護職は、人命に関わることもある非常に尊い職です。中途半端な気持ちでは務まりません。他人を思いやり、使命感を持ち、仲間と協力し合いながら看護師になるための資質と意識向上を目指していきましょう。看護系学校へ進学するためには、もちろん学力面の底上げも必要となりますが、「私は絶対に看護師になる！」という強い気概を持ちながら様々なことにチャレンジしていかねばなりません。	常に高い意識を持って、学習・部活動・進路活動に取り組みましょう。普段の望ましい生活が、そのまま将来の看護師像を作り上げていきます。国公立大学進学希望者は共通テストで得点を取ることを目指し、看護学校進学希望者は2年次までの学習内容を完璧に理解しておくよう、普段の学習から集中して取り組みましょう。もちろん、部活動での頑張りも面接などでは十分にアピールできる材料となります。
前期 中間	1年 6月		第1ステージ前期 (入門基礎力育成期)		
	1年 7月		学習方法と 学習習慣の確立		
	1年 8月				
前期 期末	1年 9月				
	1年10月		第1ステージ後期 (基礎力育成期)		
	1年11月		学習方法と 学習習慣の定着		
後期 中間	1年12月				
	1年 1月				
後期 期末	1年 2月				
	1年 3月				
	2年 4月		第2ステージ前期 (実力伸長期)		
	2年 5月		学習の量と質の向上		
前期 中間	2年 6月				
	2年 7月				
	2年 8月				
前期 期末	2年 9月		第2ステージ後期 (実力伸長期)		
	2年10月		具体的な目標を見据えた 学習への転換		
	2年11月				
後期 中間	2年12月				
	2年 1月				
後期 期末	2年 2月				
	2年 3月				
	3年 4月	☆	第3ステージ前期 (進路達成期) ～入試基礎力養成期～		
	3年 5月	☆	自律的な学習の確立		
前期 中間	3年 6月				
	3年 7月	☆			
	3年 8月				
前期 期末	3年 9月	☆			
	3年10月	☆	第3ステージ後期 (進路達成期) ～入試実践力養成期～		
	3年11月		入試本番を見据えた実践力の完成		
後期 中間	3年12月				
	3年 1月				
	3年 2月				
	3年 3月				
				進路日程	進路学習
				1年	9月 大学と職業を考える講話 ◇自分には本当に「看護師」を目指すのかを考える ◇「看護師」という職業について詳しく調べる ◇「看護師」以外の医療職について調べる ◇「看護師」になるために進むべき道はどのようなところがあるかを調べる ◇進路チューターとの相談
				2年	5月 ふれあい看護体験 6月 進路分野別ガイダンス(看護) 7月 第1志望届出集会 8月 オープンキャンパス参加 校内ガイダンス 10月 担任面談 第1志望面談 12月 第1志望決定集会 ◇医療に関わる時事問題について興味・関心を持ち、それに対する自分の意見や感想を持つようにする。また、それを文章表現できるように練習する。 ◇看護師になるための進路実現に向けて、特に「本当に看護師という職業選択が自分にとって望ましいのか」を考えて生活を送る。 ◇受験予定校の選択肢を探り、大まかな優先順位を決める。 ◇進路チューターとの相談
				4月	◆各学校の受験科目調べ、科目の出題範囲に合わせた学習計画作成 ◆暗記系の分野を早めに学習しておく(英単語・国語常識・生物用語等) ◆模試を活用した対策・振り返り
				5月	ふれあい看護体験 (在学中1度のみ参加可能) ◇受験科目の決定と受験直前までの学習展望を見通す ◇看護学校調べ、入試科目調べ
				6月	
				7月	ふれあい看護体験 夏期学習会
				8月	夏期学習会 ◇夏期学習会を利用して学習内容の徹底理解を図る
				9月	
				10月	
				11月	◇受験を意識した学習の定着化、一歩先行く発展的内容の学習
				12月	冬期学習会
				1月	看護学校入試開始 大学入学共通テスト(中旬) ◇1次試験と2次試験が重ならないように複数校受験する
				2月	国公立大学前期試験
				3月	公立大学中期試験 国立大学後期試験
					看護学校等受験本格化
					12月中までに受験範囲の学習完了を目指す

※定期考査・模試の実施月は年度により多少変動します

岩見沢西高校の3年間 ～ 公務員希望者 ～

「人の役に立たない仕事は存在しない」と言われますが、利益を確保しなければどうしても存続できない民間企業とは異なり、社会貢献そのものを存在意義とし、公共の福祉を最大の目的とする公務員ほど純粋に「人の役に立つ仕事」ができる職業は他にはないとも言えるでしょう。それが公務員の最大の特徴であり、大きな魅力のひとつなのです。

定期 考査		模 擬 試 験		心構え	日常生活
	1年 4月		第1ステージ前期 (高校入門期) 西高スタイルへ転換	同級生よりも一足早く社会に出て経済的にも自立した大人になるという選択をするわけですから、それに相応しい覚悟と自覚が求められます。公務員としての職務を全うするために必要な責任感、忍耐力、コミュニケーション力などの資質を高められるように、日頃から意識を高く持って生活するようにしましょう。その上で、試験において求められる知識や能力を習得する努力を日々継続して行うことです。大学入試にも対応できる学力は公務員合格の可能性も飛躍的に向上させます。	公務員試験では教養・適性・人物（面接）・作文・体力など様々な試験が課せられ、総合的に合否が判定されます。当然それらの力は一朝一夕に身に付くものではありません。言い換えれば、日常生活のすべてが試験対策でもあるのです。日々の授業を大切に、部活動や生徒会活動等に真剣に取り組むことが最大の試験対策です。ただ、試験には傾向がありますから、早い段階で公務員試験について知り、必要な対策をとる必要があります。
	1年 5月				
前期 中間	1年 6月		第1ステージ前期 (入門基礎力育成期) 学習方法と 学習習慣の確立		
	1年 7月				
	1年 8月				
前期 期末	1年 9月				
	1年10月		第1ステージ後期 (基礎力育成期) 学習方法と 学習習慣の定着		
	1年11月				
後期 中間	1年12月				
	1年 1月				
後期 期末	1年 2月				
	1年 3月				
	2年 4月		第2ステージ前期 (実力伸長期) 学習の量と質の向上		
	2年 5月				
前期 中間	2年 6月				
	2年 7月				
	2年 8月				
前期 期末	2年 9月		第2ステージ後期 (実力伸長期) 具体的目標を見据えた 学習への転換		
	2年10月				
	2年11月				
後期 中間	2年12月	☆			
	2年 1月				
後期 期末	2年 2月	☆			
	2年 3月				
	3年 4月	☆	第3ステージ前期 (進路達成期) ～実践力養成期～ 受験本番に向けた実践力の完成		
	3年 5月	☆			
前期 中間	3年 6月	☆			
	3年 7月	☆			
	3年 8月				
前期 期末	3年 9月		受験本番		
	3年10月				
	3年11月		第3ステージ後期 (進路達成期) ～就職準備期～ 就職を控えた社会人基礎力の養成		
後期 中間	3年12月				
	3年 1月				
	3年 2月				
	3年 3月				

進路日程	進路学習	教科学習・試験対策	
4月 進路考察の基礎ガイダンス	◇自分は本当に「公務員」を目指すのかを考える。 ◇「進学」と「就職」、「民間」と「公務員」について比較検討する。 ◇公務員という仕事について詳しく調べる。 ◇公務員の種類について調べる。 ◇進路チューターとの相談	1年次では、進路を就職・公務員と決めつけず、大学進学にも対応できる学力を身に付けることを目標に授業内容の完全理解を目指してください。いずれにしても公務員試験の教養試験は高校の授業で学習する内容から広範囲に出題されるのです。 教科科目で最も重要なのが、その配点の大ききから「政治・経済」となります。 ※2年次以降の科目選択に注意	
1年 9月 大学と職業を考える講話(1)			
10月 大学と職業を考える講話(2)			
6月 分野別ガイダンス(公務員)	◇国や地方、地域社会が直面する問題について関心を持ち、それに対する意見や感想を持つことを習慣化する。 また、それを口頭や文章でも表現できるように練習する。	2年次では、進路変更にも対応できる学力を担保すべく努力を継続するとともに、公務員試験特有の試験対策も始めなければなりません。	
7月 第1志望届出集会	◇公務員試験の概要について調べ、受験までの見通しを持つ。	◇模擬試験を活用した対策・復習	
8月 校内ガイダンス	◇「国家」と「地方」、「事務」と「公安」等、どの試験を受験するのかを具体的に考え、その対策を具体化する。	◇講習会を活用した学習の深化	
10月 担任面談	◇第一志望届の提出と面談準備	◇「数的推理」「判断推理」「空間把握」「資料解釈」等の分野対策	
第1志望面談	◇過年度の募集要項等を参考にし、自分の受験計画を立てる。		
12月 第1志望決定集会 公務員スタートガイダンス 公務員基礎力判定模試①	◇公表されている過去問題や受験問題集などで傾向を分析する。		
1月 冬期公務員講習会	◇各種団体の採用説明会に積極的に参加する。		
2月 公務員基礎力判定模試② 公務員試験対策講習会 公務員ガイダンス	◇進路チューターとの相談		
3月 春期公務員講習会 各種団体の採用説明会			
4月 公務員講習会 公務員模試①	◇面接試験を見据えて「面接ノート」を用意し、予想される質問と回答をまとめる。	◇模擬試験を活用した対策・復習	
5月 公務員講習会 公務員模試② 各種試験案内の入手～7月	◇自己の振り返り(ポートフォリオ等活用)	◇講習会を活用した学習の深化	
6月 公務員講習会 公務員模試③ 各種試験の出願～8月	◇試験案内を入手し、実際の受験計画を決定する。	◇「数的推理」「判断推理」「空間把握」「資料解釈」等の分野対策	
7月 公務員模試④ 夏期公務員講習会 (民間就職求人票公開)	入試に必要な実践力を養成	◇「適性試験」の練習	
8月 直前対策講習会 就職実現模擬面接 公務員志望者向けセミナー		◇模擬面接(校内のほか、外部団体が実施するもの複数あり)	
9月 一次(筆記)試験受験 直前対策講習会 (民間就職試験解禁)		◇受験と並行して、一次及び二次受験対策の継続	
10月 二次(面接)試験受験 面接対策講習会			
11月 (民間就職試験併願可)	◇11月には多くの試験結果が判明する。合格した試験には実際に採用される意思の有無を表明する。		
12月	◇これ以降は就職に向けての充電期間となる。一般教養、一般常識マナー等を身に付けるように努力するといよい。		
1月			
2月			
3月			

※定期考査・模試の実施月は年度により多少変動します